

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年2月18日

配布数 7

回収数 7

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール京都西院

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	割合（％）				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
						はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・今年度より1枠2名となり、様々な活動が十分に行なえるスペースが確保でき、環境設定がしやすくなった。 ・グループセッションになると人数が多くなるため、観察室でソーシャルディスタンスを取りながらの見学が難しい。	・グループセッション時の観察室のご利用が気になる保護者の方には、廊下からの見学も可能であることをその都度お伝えしていく。
	2 職員の配置数は適切であるか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・一時的に人が少なくなることはあるが、現在は十分であると思う。 ・指導員の人数は適切だと思う。 ・1つの時間枠に2人になり、職員の急な休みにも対応しやすくなった。 ・休みのスタッフなどが出ると対応が難しい。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	1	0	85.7%	0.0%	14.3%	0.0%	・必要な情報については、掲示してお知らせしている。 ・設備等は適切。 ・子どもに合わせて絵や文字などの視覚提示を変えている。 ・複雑な動線がなく、子どもにも分かりやすい。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・毎日安全チェックと掃除を行なっている。 ・毎朝掃除を行ない、子どもたちがけがをしないよう、環境の確認も行なっている。 ・必要に応じて落ち着くための空間作りのように柔軟な空間の使い方をしている。 ・子どもが危険なく、そして気が散ってしまわないように整頓され、活動しやすい空間である。	
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・振り返り時に改善が必要と感じたことを相談し、解決に向けて話し合っている。 ・日々のデイリーカンファや職員間の話で行なっている。 ・毎日の振り返りで検討事項を挙げ、全員が意見をいうことができています。 ・ミーティングを月1回行い、よりよくしていくための意見交換がなされ、しっかり検討されている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・改善すべき指摘があった際には、改善を図るようにしている。 ・保護者等の意向を真摯に受け止め、業務改善につなげている。 ・成長確認シートでも満足度やSEDスクールに今後望むことをお伺いし、改善につなげている。 ・職員が目を通し、どのような意向や要望があるのかを知ることができている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・掲示板にて公表している。 ・保護者の見えるところにも掲示している。 ・評価表の結果について今後の対応を話し合う場を設けている。 ・掲示にて公開しており、どういう意見があり、どうしていこうと思っているかを提示されている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・定期的な社内研修が実施されている。 ・会社からの研修と個人で申し込んでいる研修を受けています。 ・会社全体での研修のほか、職員が中心となって事業所独自の研修も行なっている。 ・必要な研修を各自がそれぞれきちんと受け入れている。	
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・共通のアセスメントツールを使用し上で作成している。 ・カンファレンスの中で、他の職員と意見を交わすことで、客観的な分析、作成を行えている。 ・普段のセッションや、支援計画のためのカンファレンスでも複数の職員によるアセスメントを行なっている。 ・ニーズ、デマンドを大事にし、必要なことを選択し、計画にきちんと盛り込まれている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・支援計画更新時期に合わせて同じツールで確認している。 ・アセスメントシートを使用している。 ・情報収集し、適応行動の把握を行なっている。 ・社会性や感覚に関する行動面についてはアセスメントツールの中に項目があるが、適応行動についての項目は十分ではないかもしれない。	・カンファレンスで適応行動について意見は出ているが、客観的なツールがないか、情報収集しながら検討していきます。
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・設定している。 ・それぞれの項目で具体的な支援内容を設定している。 ・画一的な内容でなく、一人一人にあった内容が選択され、また行動レベルの具体的な内容が設定されている。 ・項目ごとに適切な支援内容が選択されており、個別に合わせた目標設定、具体的な支援内容がたてられている。	
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・支援計画→指導計画→プログラムという流れができている。 ・児童発達支援計画をもとに活動プログラムを設定している。 ・支援計画に沿った毎月の目標を設定し、それに合わせて毎回のセッション内容を設定している。 ・支援計画の目標などをもとに必要な支援を設定し、提供している。	
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	0	0	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	・カンファレンスでどういったことを行なっていくとよいか意見を出し合っている。 ・プログラムはセッション担当が立てるが、立案にあたってほかの職員の意見も聞いている。 ・様々な職員がセッションに入り、その子に必要な内容を話し合うなかで、プログラムの立案ができている。 ・同じ目標を共通にしっかり持ちながら、それぞれが活動プログラムを立案し、きちんと行なっている。	
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・月ごとの指導計画に必要なことをその時の状況に合わせて入れている。 ・担当だけでなく、色々な職員が入ることにより、固定化しないようにしている。 ・同じ課題にも様々な遊具や教材、方法でアプローチするように努めている。 ・適宜カンファレンスを行い、目標の見直しや一回一回のセッションの変化に合わせて内容を変えられている。	
15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	0	1	0	85.7%	0.0%	14.3%	0.0%	・必要性に合わせて、集団や共同、個別を組み合わせている。 ・子どもの状況、保護者のニーズに合わせて組み合わせ作成しています。 ・個別、共同、集団の活動を組み合わせ、計画にも含めている。 ・指導員の関係性や、子どもの状況に合わせてグループへの参加や個別を優先など適切に提供されている。		
16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・必要に応じて確認しつつ行なっている。 ・朝のミーティングや職員間で確認をしている。 ・同様の職員間や自由遊びの職員などで、前回のセッションから想定される課題など話し合い、内容や役割分担の確認をしている。 ・必要時に話し合いや相談がなされており、それぞれの役割分担に合わせて動いている。		

	17	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・セッションでの困りごとなどは共有し、問題解決に向けて話し合っている。 ・全員でデイリーカンファを行なっている。 ・検討事項やヒヤリハット、共有事項などを話し、次のセッションまでに疑問点や課題を整理した上で今後の内容を考えられるようにしている。 ・振り返りの中で検討事項や共有しなければならないこと、その日の気づきなどを話し合っている。 	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・「ことば」「からだ」「こころ」の項目に分け、その観点から情報を整理できるようにしている。 ・記録の記入をしている。 ・毎回の記録とは別に特に検証が必要なケースは出来事の詳細や見立て、今後の対応を記録している。 ・必要な記録を分かりやすくまとめて記載し、支援に反映していきやすい。 	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画作成前に必ず成長確認シートを記入してもらっている。 ・支援計画の期限以外でも、子どもの様子が変わったり新たな課題が出てきた時には方向性を見直しを行なっている。 ・保護者にシートを記入していただき、カンファレンスできちんと見直しして、話し合いがなされている。 	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	2	0	71.4%	0.0%	28.6%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて参加しようとする。 ・京都市はセルフプランのため実施されることはありません。 ・京都市はセルフプランのため、実施せず。 ・担当者が出席できるよう調整したり、必要時に参加されている。 	・当施設のご利用者は、京都市内でもセルフプランでのご利用となっております。そのため、障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に参加することはありません。相談支援事業者からの希望があった場合には、モニタリングや会議などの実施はしており、今後の継続していきます。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・主にスクール長を窓口として連携している。 ・必要があれば連携したい。 ・相談や連携の要請があった場合、積極的に関係機関と連絡を取りあうなど連携されている。 	
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同意の下、園見学、園からのスクール見学、電話での情報共有を行なっている。 ・園への訪問、または事業所への見学を行い、情報共有を図っている。 ・園見学やSEDへの園からの見学、またSED、医療、園でのカンファレンスなどを行ない、情報共有、相互理解、今後の支援など話し合う機会をもてた。 ・園への訪問や、先生に見学に来て頂いたり、電話での相談などを状況に応じて行っており、情報共有されている。 	
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行いたいと考える。 ・支援計画などを学校側に提出することにより、情報共有を図っている。 ・必要に応じて保護者とともに小学校を訪問したり、これまでの支援内容を書面でお渡ししたりしている。 ・また小学校に伝える内容を保護者と相談している。 ・就学に必要な情報を保護者を介して伝えたり、必要時には情報共有が行われている。 	
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに応じて、他事業所での様子を探し、連携している。 ・児童発達支援センター（うさぎ園）での研修に参加した。 ・保護者対応が難しいケースで連携できていた。 ・必要時に情報の共有や、連携を行い、支援に活かされている。 	
	25	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	4	2	0	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・参加してはいるが、機会があれば参加したい。 ・そのような会議の有無がわかりません。 ・実施されているか分からない。 ・出席できるようメンバーや時間の調整などがなされている。 	
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・セッション後に保護者との共有を図っている。 ・振り返りの中でお伝えしている。 ・毎日の振り返りで行うとともに、スクール長との面談や、相談支援も行なっている。 ・振り返りの時間にて情報収集や、必要な具体的説明などを行い、共通理解のもと行なわれている。 	
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・入所説明の際に、スクール長が行なっている。 ・説明が不十分な場合は、スクールと交代し、説明してもらっています。 ・入所説明の他、その都度保護者から疑問点などがあれば説明している。 ・必要な情報をきちんと説明し利用して頂いている。 	
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を作成し、保護者に説明して同意を得ている。 ・スクール長同席の下、行なっています。 ・ガイドラインの内容を直接示してはいるが、事業所でできる支援の内容と、今その子に必要な支援についての説明をし、同意を得られていると思われる。示す必要があれば（書面等）今後実施する。 ・きちんと同意書を頂いていたり、説明と同意を得た中で行われている。 	
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の振り返りの中で応じ、不十分な際は相談支援や他職員にも相談して応じている。 ・グループでも保護者同士で悩みを共有したり、助言し合ったりする機会を設けた。 ・振り返りの時間の中で伝えられることや、また検討し合ったものを改めて伝えるなど適切に行われている。 	
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援を利用してもらっている。 ・毎回の振り返りとは別に、担当やスクール長から話ができる機会の周知を行なっている。（成長確認シートでも確認） ・相談などがあつた際にとっても丁寧に、そして我々が出来る範囲での対応をしっかりと行なっている。 	
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・コドモンを使用して、自然災害の恐れがあるときの行動やコロナウイルス流行に合わせた対応を発信している。 ・掲示等で発信している。 ・避難訓練の内容や様子などの掲示を新たに取り入れた。 ・コドモンなどのアプリを使用し、情報の発信や掲示物などお知らせがしっかりとされている。 	
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムのお渡しの際には、保護者に名前の確認をお願いしてからお渡ししている。 ・研修も行い、日々注意している。 ・課題が見られた際には、どのように個人情報を扱うべきかを話し合い、具体的な行動を決めることができた。 ・全く持ち出したりできない環境ではない。カンファレンス後の検査結果のまとめなど、都度最後にきちんと集めている。 	・誤渡しや紛失などがないように研修だけではなく、日々業務の見直しを行いながら行動での修正を図られるよう、注意喚起も含め、目視確認ができるようにしています。
	33	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、口頭で具体的に聞き取りをしたり、補ったりしている。 ・丁寧な対応を心がけている。 ・子どもに対しては視覚情報を提示しながら意思疎通を行なっている。保護者の理解の仕方に合わせ説明を工夫している。 ・保護者への伝え方や内容をきちんと検討し配慮した上で、説明や情報共有がなされている。 	
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を行なっている。実際に緊急時のロールプレイにも取り組んでいる。 ・訓練実施と実施の様子の掲示を行なっている。 ・ロールプレイを通して気づいたことを共有し、どのように緊急時対応をしていくかそれぞれが主体的に考えることができた。 ・必要な対策は即座に検討していたり、必要なものは変更や導入がなされている。 	
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を行なっている。 ・行なっている。 ・子ども、保護者、指導員の役割をそれぞれが体験しながら行った。 ・避難マップや災害時の必要物資の準備はされており、備えを行なっている。様々な災害のパターン時の対応の準備が必要か。 	・火災・地震、水害についての防災知識、対応策を行っていますが、中途採用者や非常勤職員などのフォロー実施も丁寧に、どの職員もどんな災害でも判断ができるよう、引き続き訓練をしていきます。
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・入所時の書類に記入してもらい、必要に応じて後追いつている。 ・職員間で共有している。 ・必要に応じて確認し、状況に変化があれば全体に共有している。 ・保護者から情報収集されており、振り返りなどでも服薬状況に変化はないか聞いている。 	
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の振り返り時、口頭での報告と記録によって共有している。 ・作成とともに、デイリーカンファで共有している。 ・毎日の振り返りでヒヤリハットを報告する機会を設け、必要な検討も行なっている。 ・日々の振り返りで話し合わせ、きちんと検討されている。 	
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・年に一回虐待についての研修がなされている。また、子どもの体の異常については職員で共有している。 ・研修を行なっている。 ・普段から虐待の可能性も視野に入れた支援や見立てを行なっている。 ・研修への参加の調整が適宜きちんとされている。 	